



令和8年7月6日（月）第6号
北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園
文責 校長 谷 義久

7月1日 実習報告会を開催しました

講話「挑戦して失敗から学べる力を」 TOTO サニテクノ富永晃弘様

7月1日（水）は、大雨の中でしたが無事実習報告会を行うことができました。朝から雨足が強くなり、早く下校しなければいけないかもしれないと心配しながらの開催でしたが、予定していたプログラムをすべて終わることができました。保護者の皆様にはお足元の悪い中、ご来校いただきありがとうございました。校舎移転後、校地の関係で十分な駐車場の確保ができないために公共交通機関でのご来校をお願いして、ご不便をおかけしております。今後ともご協力をお願いいたします。

さて、新校舎での最初の実習報告会でした。例年、暑さが心配される中での報告会ですが空調のきいた快適な体育館で行うことができました。

生徒たちの報告を聞きながら感じたことをお伝えします。成果として出てくること、課題として出てくることで大切だと思われるのは、次の点ではないでしょうか。

○コミュニケーション

【あいさつ 笑顔 援助を求める力 など】

○仕事に対する姿勢

【丁寧さ 集中力 持続力 報告・連絡・相談

メモを取ること など】

○体調管理

【食事 睡眠などの生活リズム など】

今回の実習で成果として自分の力となった点は、継続していきましょう。課題として挙げたところは、次の実習までの4か月間の学校での学びの中で取り組んでいきましょう。

今回、TOTO サニテクノの富永様に「挑戦して失敗から学べる力」と題して、ご講話いただきました。本校卒業生が失敗から学び、提案し、最終的には会社を動かし、コストダウンにつながったというお話でした。先輩が会社を動かし、利益をもたらしたのです。すばらしいですね。

失敗は「終わりでない」成功への通過点。次につなげるためのチャンス。新しい発見、学びや成長の機会とお話していただきました。あきらめずに挑戦し続けることが大切だと教えていただきました。

富永さんが、講演の最初に次のような質問をされました。

「失敗をしたことある人」ほとんどの人の手が上がりました。

「落ち込んだ人」ほとんどの人の手が上がりました。

「挑戦をやめようと思った人」手が上がりませんでした。

挑戦をやめようと思った人がほとんどいなかったことが大変うれしかったです。

みなさん、学校でもどんどん挑戦して、「失敗（うまくいかなかったこと）」を学びのきっかけにして、その先にある大きな学びへつなげてください。たくさん挑戦してください。やってみないと成長しません。そして、気づいたこと、考えたことをどんどん声に出してください。TOTO サニテクノの先輩は気づいたことを上司に伝えました。そして、会社のコストダウンにつながりました。コストダウンしたということは商品を安く提供できるということですから、お客様にも喜ばれることです。

みなさんも、作業学習や専門教科で学ぶときには、大いにコミュニケーションをとって学んでいきましょう。

7月15日(水)kick スポーツフェスタ

於：北九州市立総合体育館（八幡東区八王寺町）

Kick スポーツフェスタを7月15日（水）に北九州市立総合体育館で開催します。昨年までは、鞘ヶ谷競技場で行っていた陸上カーニバルに代わる体育的行事です。2日（木）に色別の結団式を行いました。3年生の色長を中心に3学年が縦割りで競い合います。学年を超えて仲間の協力で一人一人の力を十二分に発揮してください。力を出し切ったやり切った爽快感を味わってください。周りの応援が力を引き出します。スポーツフェスタは生徒実行委員会により運営されます。競技を全力で頑張ることと、競技運営を自分たちで行うことはフェスタを成功に導く両輪です。どちらかが不十分だとフェスタは不完全燃焼を起こします。生徒諸君の奮闘を期待しています。

保護者の皆様、7月15日（水）はkick スポーツフェスタへご来場ください。初めての会場、初めての競技で失敗もあるかもしれませんが、挑戦して失敗から学びます。トライ&エラーの精神で頑張りますので、応援をよろしくお願いいたします。